

令和4年度後期 授業評価アンケートに対する改善報告書

授業科目名：臨床倫理特論	授業コード：M11003
担当教員氏名	清水哲郎、濱中喜代、石井真紀子
開講年度・時期	令和 4 年度 前期 ・ 後期 ・ 通年
<p>5段階評価で答える部分は好意的に評価していただいた。特に「授業の成果を研究活動に活用できると思いますか」という問いに、全員が「5. 強くそう思う」と答えておられた点は、自由記述の「これからの仕事に発生する倫理的な出来事に活かしていける」との感想と共に、看護実践における臨床倫理の重要性をご理解いただいたこととして有難く思った。</p> <p>自由記述で「視野が広がる」「もっと深めたい」「事例についてディスカッションできた貴重な機会」等のご指摘や、懇話会を一部授業に換えたことへの評価等は、今後の授業の内容の改善に活かしていきたい。</p>	

授業科目名：多職種連携特論	授業コード：M11004
担当教員氏名	鈴木るり子
開講年度・時期	令和 4 年度 前期 ・ 後期 ・ 通年
<p>授業ガイダンスの説明不足であったことから、院生から貴重なご指摘を受けた。今後は改善を図っていきたい。</p>	

授業科目名：医療社会学特論	授業コード：M11007
担当教員氏名	相澤出
開講年度・時期	令和 4 年度 前期 ・ 後期 ・ 通年
<p>本講義には4名の受講者が参加されました。このたびは医療社会学、現代医療制度史に関する専門書を輪読するゼミナール形式の講義となりました。シラバスの中身といささか異なりましたが、地域包括ケアシステムを土台とする医療システムが登場するにいたる歴史的経緯を理解するマクロ的な視点にふれることは、医療社会的にも、受講者の方々の問題関心からも、有意義と判断し、今期の講義内容といたしました。受講者の皆さんは難解な専門書と向き合うなかで、テキストを読み解く力、読み解いたものをレジュメにまとめる力、問いを発し、討議する力を伸ばされたと感じました。シラバスでもとりあげた医療社会学の基礎論も織り込みながらの講義となりましたが、医療に関係するとはいえ、看護学の領域のものではない専門書や資料と取り組むことになったため、難易度は高かったと思われます。それでも受講者の皆さんは、しっかりテキストと向き合い、回を重ねるたびにレジュメの完成度も高くなりました。討議も活発で、積極的に参加されていた姿が印象に残っています。よき受講者の方々に参加していただいたことに、科目担当者として心から感謝申し上げます。</p>	

授業科目名：コンサルテーション特論	授業コード：M11009
担当教員氏名	岡田実
開講年度・時期	令和 4 年度 前期 ・ 後期 ・ 通年
<p>コンサルテーションの機能は、院内においても各所で展開されている活動です。その役割や制限、時には限界を理解して問題解決過程を進める必要があります。今回は、コンサルテーションの機能を意識した活動の参考になればと思います。</p>	

授業科目名：看護学教育特論	授業コード：M11011
担当教員氏名	江守陽子、濱中喜代、土田幸子、石井真紀子
開講年度・時期	令和 4 年度 前期 ・ 後期 ・ 通年
<p>院生の方々の事前学修課題への対応等において、皆さんの学修に対する準備性が高く、講義を進める教員側にとっても大変やりがいを感じるとともに、良い時間を共有できたと感じています。</p> <p>講義内の各々の意見交換も大変深みがあり、素晴らしいの一言に尽きます。</p> <p>シラバスについては、学生にとって学びやすいように内容の順序について教員間で再検討します。</p>	

授業科目名：地域看護学特論Ⅱ	授業コード：M21006
担当教員氏名	鈴木るり子
開講年度・時期	令和 4 年度 前期 ・ 後期 ・ 通年
<p>地域看護学特論Ⅱでは、シラバス内容に追加として、社会疫学が解明する「健康格差」とその対策を取り入れたことで、評価項目のシラバス概要、指定された参考図書等について4段階になっていた。ガイダンスでシラバス内容の変更について説明不足があった。今後は改善を図る。</p>	

授業科目名：地域看護学演習Ⅱ	授業コード：M21007
担当教員氏名	鈴木るり子
開講年度・時期	令和 4 年度 前期 ・ 後期 ・ 通年
<p>地域看護学演習Ⅱでは、自己の研究テーマ、背景、目的・意義、研究方法等一連の流れに沿って、研究倫理審査に申請する研究計画書を作成した。作成には長時間を要したが、研究倫理審査会に申請し、承認を得ることができた。</p> <p>しかし、承認を得るためには、計画的に取り組む必要があった。次年度の院生には、ガイダンスで説明し改善を図りたい。</p>	

授業科目名：看護管理学演習	授業コード：M41004
担当教員氏名	伊藤收、土田幸子
開講年度・時期	令和 4 年度 前期 ・ 後期 ・ 通年
<p>大変、高い評価を得た。しかし、履修生自身が評価する自身の（事前準備）、（事前・事後の学修）、（参加態度）には5ではなく、4が付けられていた。</p> <p>本科目は、修了後の「認定看護管理者資格」の取得に大いに影響する科目であり、前期の「看護管理学特論Ⅰ～Ⅲ」と比べ、履修生の負担はかなり重くなる。</p> <p>そういう状況にあって、担当教員としては「社会人院生としてよく努力をしている」との印象であったが、後期期間中に履修生に体調不良があったため、それが履修生自身の自己評価を下げてしまったと推察する。</p>	

授業科目名：看護学特別研究	授業コード：M51001
担当教員氏名	岡田実、濱中喜代、勝野とわ子、江守陽子、伊藤收、下野純平、大谷良子
開講年度・時期	令和 4 年度 前期 ・ 後期 ・ 通年
<p>修士論文へのチャレンジは、さぞかし、大変なことだったと思います。研究はどのようなプロセスを経て着手されるのか、データはどのように分析・解釈するのか、研究結果をどのように発表するのか、自分の研究課題への質疑応答の受け方など、一連のプロセスを体験したことになります。今後の学修生活において、大変貴重な経験になったのではないのでしょうか。できれば、この経験を職場の同僚にも伝えていただき、現場に発生している諸問題の解決や諸課題への取組みに、役立てていただきたいと思います。</p>	

## 2022 年度授業評価アンケート

【科目名：大学で入力】

本アンケートは、大学院における授業改善を目的として実施しています。個人を特定できないよう無記名でご回答いただけます。回答は自由意志ですが、ご協力いただきますようお願いいたします。

※教員が複数で担当している場合はおおむねの状況で判断し、特記事項については自由記述欄に記入してください。

以下の質問について、あてはまると思う番号を選択してください。

No.	質問内容	全くそう思わない	1	2	3	4	5	強く思う
1	シラバスの概要、目標、内容、方法、評価基準は、適切でしたか。	1	2	3	4	5		
2	指定された参考図書や教科書は、適切でしたか。	1	2	3	4	5		
3	配布されたレジュメや資料は、適切でしたか。	1	2	3	4	5		
4	授業の回数は、適切でしたか。	1	2	3	4	5		
5	1回の授業での進度は、適切でしたか。	1	2	3	4	5		
6	開講時期や曜日、時間は、適切でしたか。	1	2	3	4	5		
7	講義方法は、適切でしたか。	1	2	3	4	5		
8	授業は、理解しやすい内容でしたか。	1	2	3	4	5		
9	教員の指導やコメントは、適切でしたか。	1	2	3	4	5		
10	プレゼンテーション（担当課題）の事前準備は適切でしたか。	1	2	3	4	5		
11	演習や課題等に関する事前・事後学修は適切でしたか。	1	2	3	4	5		
12	授業に参加する態度（質問や発言）は適切でしたか。	1	2	3	4	5		
13	授業から知的刺激を受け、関連する学修を深めたいと思いましたか。	1	2	3	4	5		
14	授業の成果を研究活動に活用できると思いますか。	1	2	3	4	5		
15	この授業に関する感想、意見、要望をご自由に記載して下さい。							

※授業評価アンケートは Google フォームにて回答を求めた。

## 2022 年度授業評価アンケート（看護学特別研究）

【科目名：看護学特別研究】

本アンケートは、大学院における授業改善を目的として実施しています。個人を特定できないよう無記名でご回答いただけます。回答は自由意志ですが、ご協力いただきますようお願いいたします。

【看護学特別研究について】

質問 1～3 について良かった点や困った点、今後のご要望をご回答ください。

なお、本科目の場合、授業は大学院生と指導教員との間の個別指導に近いかたちで行われています。

そのため、以下の質問で研究プロセスとして記されている内容は、正規の授業時間外（場合によっては過年度）に実施されたかもしれません。ここでは、そのようなかたちで行われた研究支援を含めて、評価してください。

No.	質問内容	回答方法
1	研究課題決定から研究計画書作成まで（研究方法・研究デザイン・データ収集方法の検討、倫理的配慮・手続き、研究計画書作成、倫理審査委員会提出書類作成・提出が含まれます）	自由記述
2	データ収集から発表・評価まで（データ収集・分析、修士論文作成、発表・評価が含まれます）	自由記述
3	その他、自己の研究姿勢や教員からの研究支援全般等に関するご感想やご意見、ご要望についてご回答下さい。	自由記述

※授業評価アンケートは Google フォームにて回答を求めた。

## 大学院授業改善報告書

授業科目名：	授業コード：
担当教員氏名	
開講年度・時期	令和 4 年度 前期 ・ 後期 ・ 通年
1. 授業評価アンケートの結果を踏まえた改善策、または感想等 <u>(この部分はHPで公開します)</u>	
2. 受講している院生の状況や課題等、授業評価アンケートに対するご要望、ご意見等	

※令和5年5月26日(金)を目途にご返送願います。